



ESR川西ディストリビューションセンター1 完成



兵庫県川西市でE S Rが開発を進める日本最大規模の物流施設プロジェクトのうち、「E S R川西ディストリビューションセンター1」(川西DC1)が完成した。関西の物流施設需要の高まりに対応して、E S Rが取り組んだ国内最大規模のプロジェクトとなる。効率性や使い勝手を熟考した倉庫、ラウンジ、24時間営業のショップを備えた施設の設計と施工は五洋建設が担当した。



メッセージ

E S R株式会社 代表取締役

スチュアート・ギブソン

効率性と使い勝手を熟考した倉庫

川西DC1の完成により、E S Rとしてはもちろん、日本の物流業界でも最大の敷地面積50.5万㎡を誇る川西DCプロジェクトがさらに進化した。

川西DCは関西の物流施設への需要の高まりに応え、幅広い業種の企業様にとって、サプライチェーン強化や確実な供給網構築に寄与できる立地条件の物流施設と自負しています。川西DCの都市計画の用途変更を伴う開発に至るまでは、当該地の開発に20年間以上の紆余(うよ)曲折を経ておりますが、物流施設開発のフロント

ランナーとして歩んできたE S Rが威信をかけ挑戦するプロジェクトと言っても過言ではありません。

川西DC1では効率性や使い勝手を熟考した倉庫のほか、ラウンジや24時間営業のショップなどでも我々のその想いを感じていただけたと思います。

関係者の皆さま、関わっていただいたすべてのご期待にお応えべく、今後とも未来を切り開く物流施設プロジェクトの開発に真摯に取り組んでまいります。

設計コンセプト

地域環境や働く方々に優しい施設

E S R川西DC1新築計画は、2025年3月に竣工した兵庫県川西市で大規模業務地区の「含羅林山地区地区計画」区域内に生活関連インフラ施設の機能を兼ね備えた高機能マルチテナント型物流施設の第2作として計画されました。

計画場所はDC2施設から徒歩圏内、新名神高速道路「川西IC」から約3.4km、能勢電鉄「一の鳥居駅」下車徒歩5分のアクセスの良い立地条件となっています。

建物はDC2と同様、一体型ランプ・全階接車・片側車路方式を採用し、効率の良い物流動線となる配置計画を実現。間口の広い立体型レイアウト方式の計画としました。上り下り兼用の片側ランプ方式を計画することで不整形な敷地を効率的に活用でき、建物の床面積・倉庫の収納能力を最大限に確保しています。各階3テナント区画で最小区画：約2,960㎡～最

大区画：約6,380㎡の区画構成となっています。将来対応用の搬送機(荷物用E V、垂直搬送機)についても設置可能な構造計画としました。

DC1は事務所を2コアとして敷地の効率的な活用を優先した計画を採用。DC1も非常用発電機によるBCP対応施設であり、DC2と同様にLED照明、高断熱外装材の採用によりC A S B E : Aランク、B E L S : ★5を取得。アメニティ施設はDC2とは趣を異にしたラウンジを設け「地域環境」にも、「働く方々」にも優しい、ゆとりある職場環境の確保に貢献できる施設を目指して設計を行いました。

五洋建設株式会社建築本部

建築設計部 島田 信治

五洋建設株式会社大阪支店

建築部設計課 杉原 寛



ラウンジ入り口図とラウンジ

■ 敷地に余裕が少なかつたため、地上躯体工事では造成施工時に平場をひげヤードを確保しました。さらに躯体に後施工部を設定することで、建物内部に重機走路を4力所構築しました。

■ プレキャスト・プレストレストコンクリート(PCAP)構造を採用したことから、設計・製造・運搬・施工の各段階にポイントを置いて品質管理に努めました。関係者と何度も協議を重ねた結果、自信の持てる構造躯体の構築を実現しました。

■ 施工に当たり安全性と効率性を確保するため、綿密にサイクル工程や工区割りを決め

2棟の物流施設整備と造成工事という三つの工事を同時に進行したため、多くの人が工事に携わりました。施工を円滑に進めるため、コミュニケーションを第一に考え、職長会の活性化やチャットの活用を通じ効率的な連絡調整を図り、関係者一丸となり竣工に向けて工事に取り組みました。

協議を重ね自信持てる構造躯体に

2棟の物流施設整備と造成工事という三つの工事を同時に進行したため、多くの人が工事に携わりました。施工を円滑に進めるため、コミュニケーションを第一に考え、職長会の活性化やチャットの活用を通じ効率的な連絡調整を図り、関係者一丸となり竣工に向けて工事に取り組みました。

協議を重ね自信持てる構造躯体に



■ 工事名称 : E S R川西DC1新築計画
■ 工事場所 : 兵庫県川西市東野字長尾1-444他1筆
■ 発注者 : 川西1特定目的会社
■ 事業主 : E S R株式会社
■ 設計 : 五洋建設株式会社本社一級建築士事務所
■ 監理 : 五洋建設株式会社大阪支店
■ 建物用途 : 倉庫業を営む倉庫
■ 敷地面積 : 62,863.80㎡
■ 建築面積 : 20,619.51㎡
■ 延床面積 : 119,570.80㎡
■ 構造規模 : P C a P C造地上6階
■ 工期 : 2023年10月1日～2025年5月31日
写真撮影 : 株式会社ブライズ

工事概要

設計・施工



PENTA-OCEAN

五洋建設株式会社

代表取締役社長 清水 琢三

常務執行役員 大阪支店長 生島 俊昭

■本社

東京都文京区後楽2-2-8

電話03-3816-7111

■大阪支店

大阪市北区鶴野町1-9

電話06-6486-2100

電気設備工事



Seibu 西部電気建設 株式会社

神戸市灘区都通4-1-1

電話078-882-4051

機械設備工事



大成建設グループ

大成設備株式会社

近畿支店

大阪市中央区南船場1-14-10

電話06-6271-9525

■ 仮建物工事

アート産業株式会社

大阪府東大阪市田中町5-25

電話0725-22-6500

■ 鋳造工事

有限会社 今井エンジニアリング

京都市東山区菅堤町3-194-65

電話072-286-4918

■ 熱絶縁施工

上田建設工業株式会社

愛知県松山市吉藤5-1568-1

電話089-923-8329

■ 鋼製建具工事

上原成商事株式会社

京都市中京区東山町通御池上ル後藤屋敷344

電話075-212-6001

■ 塗装工事

株式会社 宮善

広島県福山市東山口町3-18-13

電話084-953-2154

■ 金属工事

株式会社 エフ工業

大阪府東淀川区豊里1-7-37

電話06-6815-8750

■ 非破壊検査

株式会社 オクト

大阪府東大阪市永和3-11-9

電話06-6224-7676

■ 左官工事

株式会社 海原工業

大阪府北区天神橋3-7-18

電話06-6351-8597

■ 場所打ち杭

関特工業株式会社

大阪市淀川区西中島5-8-29

電話06-6390-0777

■ PCaPC工事・免震工事

黒沢建設株式会社

東京都新宿区西新宿2-7-1

電話03-6302-0221

■ 軽鉄地下・内装工事

株式会社 鴻上建築金物

愛媛県新居浜市郷2-1-9

電話0897-46-2511

■ 防水工事

株式会社 功容技研

東京都板橋区新河原2-3-5

電話06-6655-0628

■ 鋼製建具・シャッター工事

三和シャッター工業株式会社

兵庫県尼崎市七松町3-16-8

電話06-6419-2456

■ 仮設電気設備工事

四国電設工業株式会社

神戸市兵庫区荒田町1-18-13

電話078-574-5052

■ 土工事

株式会社 神栄建設

神戸市兵庫区荒田町1-18-13

電話078-574-5052

■ 新工事

有限会社 園田組

神戸市兵庫区七宮町1-8-18-301

電話078-682-1959

■ 建機レンタル

太陽建機レンタル株式会社

兵庫県尼崎市西向島町93-7

電話06-6412-6011

■ 鉄骨工事

日鉄物産株式会社

大阪府北区中之島3-2-4

電話06-7708-8037

■ 外構工事

日本道路株式会社

神戸市灘区岩屋中町1-2-9

電話078-855-3153

■ 鉄筋工事

株式会社 林田組

兵庫県高砂市梅井5-3-1

電話079-447-0880

■ 外壁工事

阪和興業株式会社

大阪府中央区伏見町4-3-9

電話06-7525-5087

■ 内装仕上工事

株式会社 美装

大阪府中央区安土町1-4-7

電話06-6271-8091

■ 山留工事

ヒロセ株式会社 大阪本店

大阪府中央区平野町2-6-6

電話06-6203-8102

■ 流動化処理土工

堤戻し工

北陸エースコン株式会社

石川県金沢市辰巳町口21

電話076-229-0050

■ 鉄骨階段工事

株式会社 横森製作所 大阪支店

大阪府福島区野田5-17-22

電話06-4804-9031